



(令和4年度)

南城市英語教育の取り組み

【統括目標】

人が育ち、人が活きる、
心豊かな人材を育む教育・
文化のまちづくり

南城市教育委員会
(教育指導課)

住所：〒901-1495
沖縄県南城市佐敷字新里1870番地
TEL：098-917-5361
FAX：098-917-5436



【1】英語教育の充実

1 教育課程特例校の推進	小学校1、2年生を対象に、文部科学大臣の教育課程特例校の指定を受け学習指導要領等の教育課程の基準によらない本市独自の外国語活動の教育課程を編成し実施する。
2 JET 及び ALT 事業の充実	英語教育の充実に向け、英語コーディネーターを配置し、JET 及び ALT とのコミュニケーションの充実を図る。英語に関する興味・関心を高め、異文化理解教育と英語教育の充実を図る。
3 英語習得への意欲の向上	(1) 英検受検者への受検料補助(2分の1)事業を実施し上記2項目の推進と英検受検とを相乗的に関連させる。 (2) 中学校では、スキットコンテストを開催し日頃の学習成果を発揮できる機会を設ける。 (3) 外部の関係機関等との交流を推進し、英語習得への意欲向上を図る。 (4) 経済産業省支援事業を活用し、小中学校にオンライン英会話とAI英会話ドリルを導入する。 (5) 小学6年生に英検 Jr. Silver test (リスニングのみのテスト) を行い到達度の確認をする。
4 教職員研修の充実	(1) 外国語教育アドバイザーによる小中連携授業への助言と、外国語担当者研修会にて「言語活動を通じた授業」の充実を図る。 (2) 文部科学省調査官招聘外国語授業研修会の実施 (3) 「中学校研修の日」英語部会にて講師招聘 (4) 先導的なオンライン研修への職員の参加 (5) ALT ミーティング

【2】国際性豊かな人材の育成

インターナショナルスクールとの連携	令和4年度「南城市中学生・英語スキットコンテスト」における副賞への協力。 *「OIS オキナワイインターナショナルスクール『2023 Summer School』の1セッション」の参加招待券プレゼント。
海外短期留学の充実 (生涯学習課担当)	海外で学習する機会を与えることにより、心の豊かさや国際感覚を育み、国際性豊かな人材を育成することを目的として、市内在住の中学生、高校生を対象に、米国ワシントン州立大学に約3週間、海外短期留学生として派遣する。
ESL キャンプの充実 (生涯学習課担当)	英語学習の機会を与えることにより、自己表現力や国際感覚を育み、国際性豊かな人材を育成することを目的として、市内在住の小学生(5・6年生)、中学生を対象に、米国大学から招聘した講師による約1週間の宿泊型英語授業等を実施する。
中国国際交流の充実 (生涯学習課担当)	中国の歴史・文化・教育に対する相互理解と友好親善、国際性豊かな人材の育成を目的として、現地に約1週間、本市在住の中学生と現地中学生との交流や民泊、市内視察等を実施する。

1 教育課程特例校の推進

①「教育課程特例校」の経緯

平成 19 年度から文部科学省より「研究開発校」の指定を受け、小中連携による 9 年間の統一した英語教育を実施。平成 23 年度から 3 年間、研究開発校の指導内容・指導体制を継承・発展する目的で文部科学省より「教育課程特例校」の指定を受け、小中一貫した音声及び活動重視の英語教育の授業実践に努めた。平成 26 年度から現在、小学校においてこの事業を継続して行っている。

②目標と実施

コミュニケーション能力の素地の育成を目標に、小学校第 1～2 学年で新設教科「外国語活動」を各学年年間 15 時間実施する。＊生活、音楽、図画工作、体育から計 15 時間、「外国語活動」に充てる。

学年	小学校第 1 学年	小学校第 2 学年
教科名 (削減時数)	生活 (－ 3)	生活 (－ 3)
	音楽 (－ 4)	音楽 (－ 4)
	図工 (－ 4)	図工 (－ 4)
	体育 (－ 4)	体育 (－ 4)

③特例校のメリット

- ・小学校での外国語活動の授業時数が統一して確保できる。
- ・市内小学校において、統一した指導体制を取ることができる。
- ・全小学校に市雇用 ALT または JET プログラム ALT を配置し、外国語活動の充実が図れる。

小学校 1.2 年生の英語活動の様子



(1 年生外国語活動例) Lesson8「くだものだいすき」

- ・買い物ごっこで必要な表現に触れる。
- ・An apple, please. / Here you are



(2 年生外国語活動例) Lesson5「いろいろな野菜」

- ・“Do you like ~ ?”の表現やそれに対する答え方に触れる。
- ・Yes, I do. / No, I don't.

2 JET 及び ALT 事業の充実

英語教育の充実に向け、英語コーディネーターを配置し、J E T 及び A L T とのコミュニケーションの充実を図る。英語に関する興味・関心を高め、異文化理解教育と英語教育の充実を図る。



(授業外での生徒との交流)



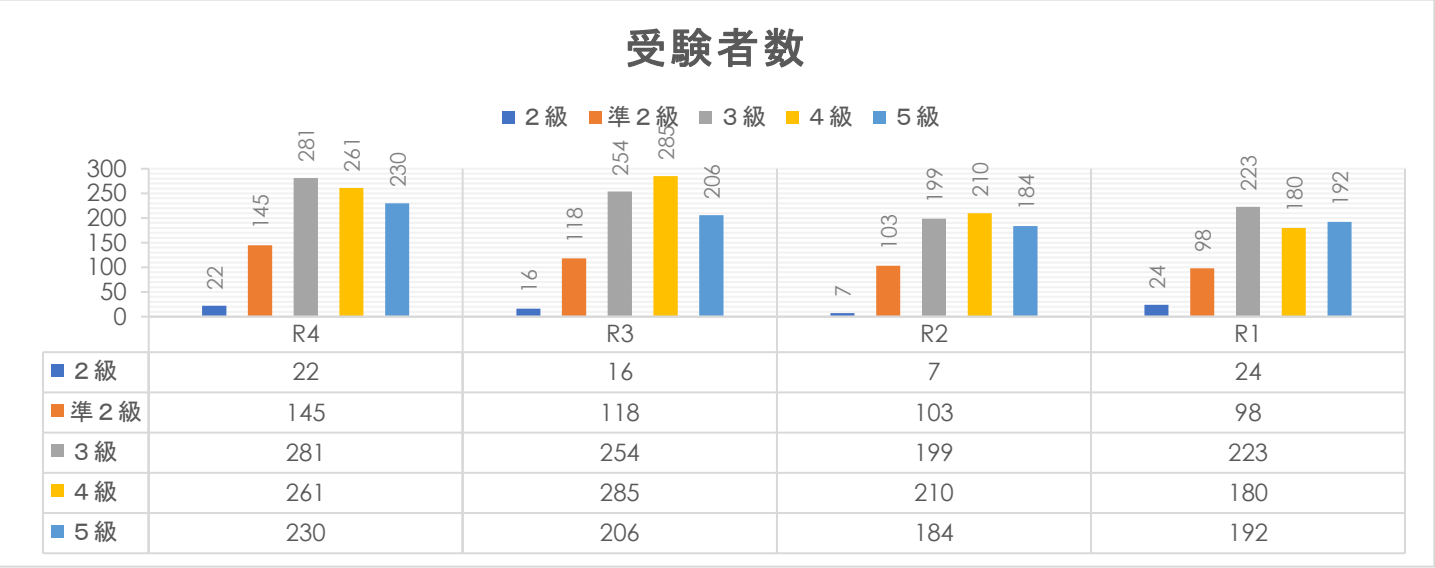
(中学校パフォーマンステスト)

3 英語習得への意欲の向上

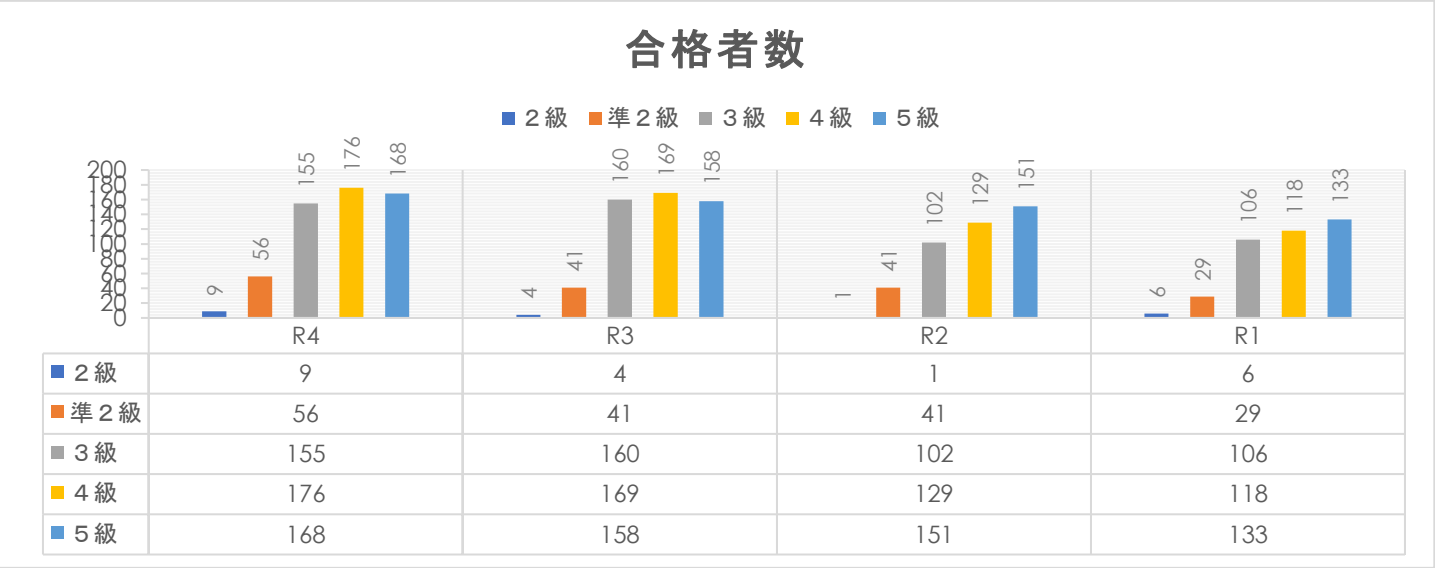
(1) 英検受検者への受検料補助（2分の1）事業

平成 23 年度から、沖縄県対米請求権事業協会の支援により、児童生徒の英語コミュニケーション能力を図る一助として、市内小中学生の英検検定料の半額補助事業を行っている。受験者数は増加傾向にあり、3 級以上にチャレンジする生徒も多くみられる。

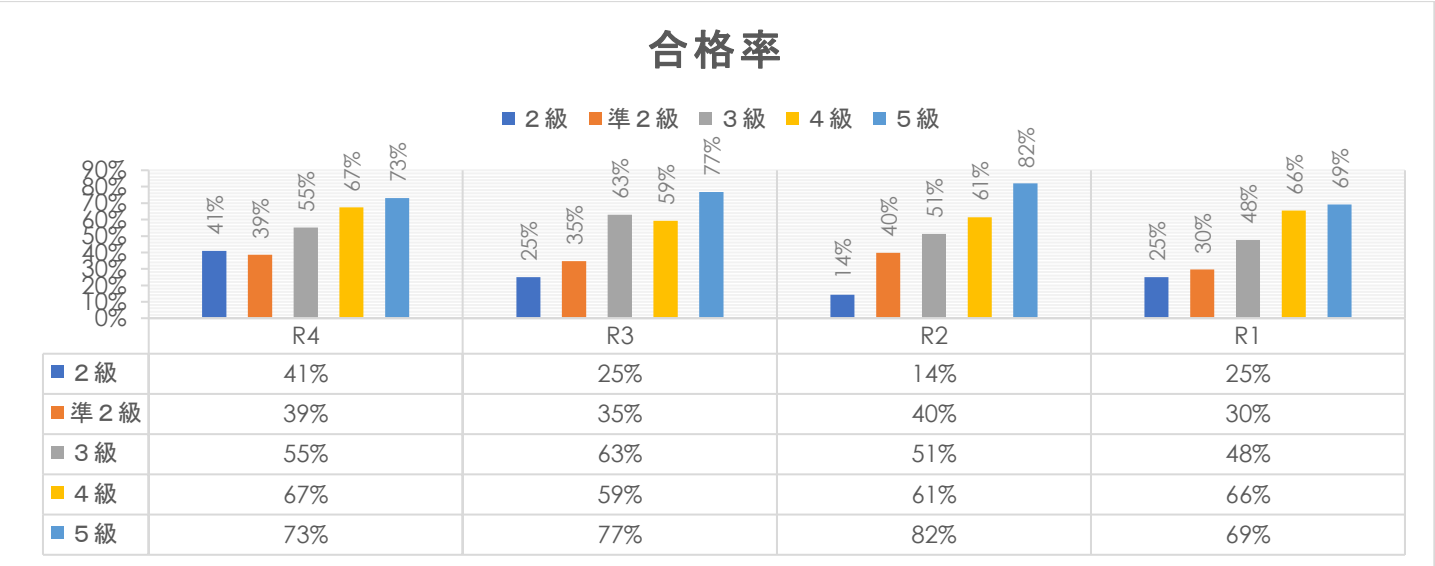
【南城市小中学校 受験者数】



【南城市小中学校 合格者数】



【南城市小中学校 合格率】



(2) 南城市中学生英語スキットコンテストの開催

南城市内の中学生に、日頃の学習の成果を発表する機会を提供することにより、学習意欲の高揚と言語表現力や思考力などの多様な能力の向上を図ることを趣旨とする。

＊平成26年度から令和元年度までは「南城市中学校英語プレゼンテーションコンテスト」を実施。令和2年度から沖縄県や島尻地区の「英語スキットコンテスト」実施に伴い、本市でも実施することとした。Skit（スキット）とは、日本語では寸劇（短い劇）という意味で、生徒一人一人の発話量が増え、英語による表現力や語彙力の向上が期待できる。令和4年度は満を持して、シュガーホールでの開催となった。

「(R4)英語スキットコンテスト」

2月22日実施



詳しい様子【広報なんじょう 2023年4月号（PDF10ページ目）】

<https://www.city.nanjo.okinawa.jp/kouhoushi/1678757506/>

(3) 外部の関係機関等との交流を推進し、英語習得への意欲向上を図る。



（基地内小学校とのオンライン交流授業）



（留学生との交流授業）

(4) 経済産業省支援事業を活用し、小中学校にオンライン英会話とAI英会話ドリルを導入する。

オンライン英会話【スパトレ】

1人1台端末を活用し、生徒と外国人講師が1対1で25分間オンライン英会話を行います。経済産業省の補助事業を受けて、スパトレ株式会社のプログラムを今年度7月後半から3月まで受講できるようになりました。授業で習ったことを発揮する機会に児童生徒は集中して、時には身振り手振りを加えて外国人講師と会話をしています。

詳しい様子①【広報なんじょう 2023年3月号（PDF12ページ目）】

<https://www.city.nanjo.okinawa.jp/kouhoushi/1675665925/>

詳しい様子②【南城市教育委員会 HP 英語教育の取り組み オンライン英会話授業の様子】

<https://www.edu.city.nanjo.okinawa.jp/education/1658968238/>

AI英会話ドリル【テラトーク】

経済産業省の「探求的な学び」プログラムを小学校3年生から中学校3年生まで、教科書準拠の教材を活用した。アプリをいつでもどこでも何度でも使えるため、学校の休み時間や家庭で土日の活用もあった。

(5) 小学 6 年生 英検 Jr. シルバーテスト (リスニングのみのテスト)

小学校外国語活動の成果を検証し、英語学習の動機付けに役立てることを目的とする。

方針として、教育課程特例校の一環として行い、令和 4 年度は市内の全小学 6 年生を対象に実施した。

年度	受験者数 (人)	平均	標準偏差
2022 年度	500	75.2	11.3
2021	515	74.6	13.2
2020	503	86.1	11.6
2019	512	85.4	10.4
2018	485	84.5	10.6
2017	434	83.0	10.6

2020 年度までは小学校 6 年生、
2021 年度は 4 年生がブロンズテ
ストを実施。

【アンケート集計】

Q5:「もっと英語を話せるようになりたいですか」

	① とてもなりたい	② 少しなりたい	③ あまりなりたくない	④ なりたくない
%	54%	36%	6%	4%

* アンケート結果より、約 90% の 6 年生が、英語を話せるようになりたいと思っている。

4 教職員研修の充実

(1) 外国語教育アドバイザーによる小中連携授業への助言と、外国語担当者研修会にて「言語活動を通じた授業」の充実を図る。



(大城 賢氏 講話「学習指導要領が求める言語活動」)

～小中外国語担当者連絡会実施日～

第 1 回 : 5/26 (木)

第 2 回 : 9/20 (火)

第 3 回 : 3/3 (金)

(2) 文部科学省調査官招聘外国語授業研修会の実施 (R4 年 10 月 17 日実施)

文部科学省、初等中等教育局より教科調査官を招聘し、公開授業への指導・助言や講話を通して、新学習指導要領における指導や評価、小中学校外国語の授業づくりの充実に資する。



(文部科学省 教科調査官 入之内 昌徳 氏)



(南城市立知念中学校 公開授業)

(3) 「中学校研修の日」英語部会にて講師招聘



(木村 達哉氏 講話：「英語指導法 基本の基本」)

(4) 先導的なオンライン研修への職員の参加（佐敷小学校 久高優菜教諭が受講）

(5) ALT ミーティング

毎回テーマを決め、それぞれの ALT による教材や授業紹介のプレゼンテーションを行った。

今年度は「言語活動を促進するアクティビティの作成/共有」をテーマに、A L T から数多くの教材共有があった。



～ALT ミーティング実施日～

第 1 回：4/27 (木)

第 2 回：7/6 (火)

第 3 回：10/13 (木)

第 4 回：1/14 (金)

第 5 回：3/17 (木)